

平成 30 年度 第 2 回今治市ふるさと共創・共生ビジョン懇談会 会議録

- 1 日 時 平成 30 年 8 月 8 日 (水) 午前 9 時 30 分～午前 10 時 55 分
- 2 会 場 今治市役所 第 2 別館 11 階 特別会議室 1・2 号
- 3 内 容 議事 1 今治市まち・ひと・しごと創生総合戦略重要業績評価指標 (KPI) の達成度検証について
議事 2 第 3 次今治市定住自立圏共生ビジョン基本目標及び成果指標の達成度検証について

- 4 出席者 <座長代理>
秋山企画課長

<専門委員>

村上 伸幸	山本 一馬	丹下 隆志	宇高 秀志
門田 聡	吉武美由紀	門田 正孝	赤尾 宣宏
門田 尚樹	吉武 優子	望田 友加	

<構成員>

越智 政徳	和田 浩一	越智 貴紀	鳥生 幸司
瀬尾 孝志	品川 二郎	森 会美	藤井 康隆
越智 秀樹	鎌田 浩志	安藤透水江	

<PT及び事業担当者>

高齢介護課	木村 光男	障がい福祉課	森 理
子育て支援課	八木 千花	保育幼稚園課	長野 幸治
道路課	井手 則緒	下水道業務課	菊川 茂之
消防本部総務課	越智 仁	教育委員会事務局総務課	越智 健治
商工振興課	村上 貴樹	商工振興課	平田 親吾
観光課	渡部 誠也	リサイクル推進課	中田 尚雄
スポーツ振興課	渡辺 弘一		

<事務局>

(企画課) 波頭主幹、大政係長、向井主査、高橋技師

平成 30 年度 第 2 回今治市ふるさと共創・共生ビジョン懇談会 会議録

<p>事務局 (波頭主幹)</p>	<p>本日はお盆前の大変お忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。定刻となりましたので、ただ今より平成 30 年度第 2 回「今治市ふるさと共創・共生ビジョン懇談会」を開催いたします。</p> <p>私、事務局を務めさせていただきます企画財政部企画課主幹の波頭でございます。よろしくお願いいたします。</p> <p>懇談会の開催に先立ちまして、1 点ご報告申し上げます。当懇談会におきましては、構成員である企画財政部長の越智が座長を務めてございますが、公務によりやむを得ず欠席となっております。つきましては、今治市ふるさと共創・共生ビジョン懇談会設置要綱第 6 条第 2 項に基づき、座長から指名を受けました、企画財政部企画課長である秋山が座長代理を務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。それでは、秋山座長代理よりご挨拶を申し上げます。</p>
<p>座長代理</p>	<p>皆様、こんにちは。本日、座長代理を務めさせていただきます、企画課長の秋山でございます。どうぞよろしくお願いいたします。本日はお忙しい中お集まりいただき、まことにありがとうございます。</p> <p>「今治市ふるさと共創・共生ビジョン懇談会」も設置から 3 年が経過し、専門委員の皆さまの 2 期目の任期もちょうど折り返しとなったところでございます。</p> <p>先般より継続してご就任いただいている委員の皆さま、また、前任者様のご退任等で今回より新たにご就任いただいた委員の皆さまにおかれましては、大変お忙しいなか、今治市の人口減少対策・地方創生への取組にご協力をいただきますこと、心より感謝申し上げます。</p> <p>さて、本日の案件でございますが、人口減少の抑制に向け策定いたしました「今治市まち・ひと・しごと創生総合戦略」及び、魅力的な定住圏形成のための各種取組を示しました「今治市定住自立圏共生ビジョン」、これら 2 つの計画におきまして設定しました数値目標の達成度検証となっております。各分野における取組が、数値目標の達成に向けて成果を上げているかどうかを検証し、今後の施策に反映させるという趣旨でございますので、委員の皆さまからの積極的なご意見をいただけたらと思っております。</p> <p>本日検証いたします数値目標の達成度や委員の皆さまからのご意見をふまえ、11 月に開催予定の次回懇談会においては、総合戦略や共生ビジョンの数値目標の変更も含んだ所要の改訂についてお諮りしたいと考えてございますので、ご審議のほどよろしくお願いいたします。</p> <p>なお、総合戦略や共生ビジョンに基づく取組を、より市民の皆さまに開かれたかたちで進めていくため、今年度も本ビジョン懇談会は公開会議とさせていただきます。また会議録におきましても、市の公式ホームページにて公開させていただきますので、ご理解賜りますよう、お願い申し上げます。なお、会の途中で傍聴される方が入室する場合もございますので、ご了承いただければと存じます。</p> <p>それでは、本日はどうぞよろしくお願いいたします。</p>
<p>事務局 (波頭主幹)</p>	<p>それではまず始めに、さきほど座長代理からもありましたとおり、新任の専門委員さんが 2 名いらっしゃいますので、お一人ずつご紹介させていただきます。今治市社会福祉協議会の越智正規委員に代わりまして、常務理事の村上伸幸様でござい</p>

	<p>ます。愛媛県漁業協同組合連合会東予支部今治出張所の塩見昌弘委員に代わりまして、門田聡様でございます。ありがとうございます。</p> <p>次に、資料の確認をさせていただきます。今回使用する資料は、「会次第」、資料1「今治市まち・ひと・しごと創生総合戦略重要業績評価指標（K P I）評価調書」、資料2「第3次今治市定住自立圏共生ビジョン基本目標及び成果指標評価調書」となっております。</p> <p>また、参考資料としまして「今治市まち・ひと・しごと創生総合戦略」「第3次今治市定住自立圏共生ビジョン」をご覧くださいようになります。</p> <p>あわせて、机の上に3点、配布させていただいております。まず「配席図」と、次に、専門委員の変更がありましたので、「今治市ふるさと共創・共生ビジョン懇談会構成員等名簿」、そして「国立社会保障・人口問題研究所推計の今治市の将来推計人口」の3点でございます。おそろいでしょうか。</p> <p>では、ここからの進行を座長代理にお願いいたします。</p>
座長代理	<p>それでは、進めさせていただきます。会次第をご覧ください。本日は2つの案件がございます。まずは、本日の議事の進め方について事務局からご説明いたします。</p>
事務局 (波頭主幹)	<p>それではご説明いたします。まず前段といたしまして、新任の委員さんもうらっしゃいますので、本日ご審議いただきます、『総合戦略K P Iの達成度検証』及び『共生ビジョン数値目標の達成度検証』、それぞれの趣旨や必要性についてご説明差し上げます。</p> <p>今治市における人口減少問題の克服に向けて、平成27年度に策定いたしました「今治市まち・ひと・しごと創生総合戦略」におきましては、施策ごとに、その効果について客観的に検証するための「重要業績評価指標」、いわゆるK P Iを設定しております。また、魅力的な定住圏を形成することで、人口流出に歯止めをかける目的で策定いたしました「今治市定住自立圏共生ビジョン」におきましても、施策分野ごとに数値目標を設定しております。</p> <p>これらの取組をより効果的に進めるためには、各数値目標の達成度により事業の進捗状況を検証し、それを反映させて改善していく仕組みの構築が重要になってまいります。</p> <p>そして、国からの交付金等の支援についての手続きを適切に進めるためにも、外部専門委員の皆さまからのご意見を頂戴し、しっかりとした効果検証を実施する必要があります。委員の皆さまにおかれましては、効果検証の趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。</p> <p>それでは、協議の進め方についてご説明します。議事1の総合戦略K P Iの達成度検証につきましては、お手元の資料1の調書に基づいてご協議いただきます。総合戦略の4つの基本目標に合わせて、全4枚の調書となっております。K P Iは全部で50本と多数に上るため、事業に大きな進捗のあったものや取組の現状をお伝えしたいものなど、分野ごとにいくつかピックアップして、各担当課からご説明したうえで、委員さんのご意見をいただければと思います。議事2の共生ビジョン数値目標の達成度検証につきましても、資料2の全3枚の調書に基づき、同様の流れで進めさせていただけたらと思います。資料1、資料2とも、左端の通し番号をオレンジ色に着色してある項目が、今回ご説明させていただく項目となっております。</p>

	<p>す。</p> <p>なお、今年度におきましても、いくつかの指標においては目標値を達成しております。達成できた目標値につきましては、次回の懇談会において変更等についてのご協議いただければと考えております。</p> <p>以上が協議の進め方でございます。積極的なご発言を何卒よろしくお願い申し上げます。</p>
座長代理	<p>本日の議事の進行について、なにかご質問等ございませんか。</p> <p>(質問等なし)</p> <p>ないようでしたら、先ほどの事務局の説明のような流れで進行させていただきます。</p> <p>それでは、議事1「今治市まち・ひと・しごと創生総合戦略K P Iの達成度検証」につきまして、資料1「今治市まち・ひと・しごと創生総合戦略重要業績評価指標評価調書」をご覧ください。</p> <p>まず1枚目の調書、「だれもがこの地で元気に働けるふるさとを創る」の基本目標から3件、2枚目の調書、「未来を担う子どもたちをみんなで育むふるさとを創る」の基本目標から2件、ご説明させていただき、その後委員さんからのご意見をいただければと思います。</p> <p>それではまず始めに、調書の1枚目、通し番号4、具体的施策の「(ア) 海事とタオルのまちづくり」「①次世代の人材育成」について、続けて通し番号8「⑤販路拡大支援」について、担当課よりご説明いたします。</p>
商工振興課 (平田補佐)	<p>具体的施策の「(ア) 海事とタオルのまちづくり①次世代の人材育成」のKPI「繊維工業従業者数」について、商工振興課より説明させていただきます。</p> <p>本施策に関しましては、具体的な数値目標として2014年の繊維工業従業者数3,056人を2019年までに1.2%増の3,092人としております。</p> <p>基礎数値を経済産業省の工業統計調査から引用しておりますが、現時点では2017年の数値が公表されていないため実績値が未確定となっております。今年度は、従来から取り組んでいるタオル製織の社内技能検定の実施に加え、新たにタオル整経の社内技能検定を開始し、タオル製造に係る人材育成を実施するほか、愛媛県繊維染色工業組合が取り組む繊維染色加工業の基盤強化事業についても、業界のイメージアップをはかり、人材確保、育成に繋げていけるよう支援してまいります。</p> <p>続いて、今治地区のタオル生産額について説明させていただきます。基礎数値を今治タオル工業組合公表の生産額を引用してはありますが、平成29年より、生産額については非公表としており、実績値は不明となっております。なお、生産数量については公表しており、平成28年12,036tから、平成29年11,468tと、4.7%減となっております。なお、今回の生産数量の減については、平成28年が平成27年に比べ5.2%増と大幅増になっていた反動やギフト関連を中心に今治タオルの需要減が重なったことが原因と考えられます。今後も引き続き、販路拡大のため、海外見本市出展やアンテナショップ開設等の販路開拓支援事業やタオルソムリエネットワーク強化事業等を支援してまいります。以上でございます。</p>
座長代理	<p>ありがとうございます。次に通し番号17、具体的施策の「(イ) 地域の企業・産業が成長するまちづくり」「⑥食のimabariブランドづくり」について、担当課</p>

	<p>よりご説明いたします。</p>
瀬尾構成員	<p>今治の食ブランド基準設定にかかる項目について説明します。</p> <p>すでに今治ブランドとして名を馳せているタオルをモデルとし、食においてもこの今治地域を売り出し、これらを通じて地域を活性化するために、これまで「食と農のまちづくり」活動で培った地産地消などをベースとして検討するものであります。地域の活性化のひとつとして、この地に訪れた人に今治の地をもっと知ってもらうことが必要であり、この中のひとつに今治地域の食を食してもらうというものがあります。温暖な気候と地形に恵まれたこの地域には、長年にわたりこの地域に親しまれた食材や、あまり知られていない食材、また、加工品などとして検討できる食材も多くあると思われまます。そして、これらを魅力的に発掘し、この今治の地に訪れた人にどのように興味を持ってもらうかが大きな課題であり、これらの活かし方次第で、地域の活性化に大きな役割を果たすことができるものと考えます。</p> <p>こうした中、昨年4月に、これらの思いをもった農業者、漁業者、移住者、食品関連業者、JA、学識者など19名により「ブランド推進会議」を設立しました。昨年度に計3回の会議を開催しており、各分野の委員からそれぞれの立場での提言していただき、他地域の農産物ブランドと区別ができ、今治ならではの食のブランドの確立を目指しているところであります。</p> <p>今後においては、それらの提言を集約し、食のブランドの方向性を決め、基準や募集要項の策定し、運用を開始することで人を呼び込み、雇用創出がされ、地域の活性化に繋がると考えます。以上でございます。</p>
座長代理	<p>ありがとうございました。それでは調書2枚目をお開きください。通し番号21、具体的施策の「(ア) 少子化対策の強化」「③子育て世帯の経済的負担の軽減」について、担当課よりご説明いたします。</p>
子育て支援課 (八木補佐)	<p>子育て支援課よりご説明いたします。</p> <p>子育て世帯への経済的援助の拡充要望率については、今年度アンケート調査を行う予定であり、現時点では数値をお出しすることができませんので、実施しております2つの事業についてご説明させていただきます。</p> <p>まず、平成29年度より実施している愛顔の子育て応援事業についてです。第2子以降の出生児のいる世帯に、今治市内の店舗で、県内企業3社の乳児用紙おむつを購入する際に利用できる50,000円分のおむつ券を交付するというものです。この事業は、県、市町及び県内紙おむつ生産企業との官民協働により実施しております。多子世帯の経済支援を行い、2人以上の出産を希望する方が、安心して産み育てることができる環境を整えることで出生率の向上を図るというものです。</p> <p>次に、子育て世帯買い物応援事業ですが、これは、妊婦や小学校就学前の子どもがいる世帯の方が、協賛店舗で買い物などをした際に、割引や特典などのサービスを受けることができるというものです。市内の商店や企業の協力により、子育て世帯の経済的負担の軽減を図り、地域が一体となって子育て家庭を応援していくという事業です。平成29年度までの事業としておりましたが、市民、事業所とも好評につき、継続実施となっております。</p> <p>今後、アンケート調査の結果をふまえながら、これら事業の継続や各種助成制度について検討し充実を図ってまいります。以上でございます。</p>

座長代理	<p>ありがとうございました。通し番号 23、具体的施策の「(イ) 女性がいきいきと輝くまちづくり」「②女性がこの地で幸せを感じられる生き方を実現できる環境整備」について、担当課よりご説明いたします。</p>
森構成員	<p>人権啓発課からご説明いたします。</p> <p>意思決定の場への女性の参画を進めるために、「附属機関等に関する基本指針」に基づき、「今治市男女共同参画計画」において、市の審議会や委員会における女性委員の割合を 40%にするという目標を掲げています。平成 29 年度の実績値は 31.1%で、ここ数年、横ばい状態となっています。委員改選時に担当課への働きかけを行っていますが、女性の登用については、各担当課でも意識をされていて、女性の率をあげる努力もしています。実際に女性の人数を増やしている会もありますが、その一方で、専門知識が必要な会や、組織の代表で構成されている会などは、そのポストに女性がいない場合も多く、一律に女性の登用を増やすことは難しいのが現状です。</p> <p>今後も引き続き、担当課への働きかけを行うとともに、女性人材リストの整備や人材育成のための女性リーダー養成講座の開催などを行うことで、女性登用率の向上につけていきたいと思っております。以上でございます。</p>
座長代理	<p>ありがとうございました。以上で、資料 1 の調書 2 枚目までの説明が終わりました。ここまでの内容で、ご意見・ご質問等ございませんか。</p>
A 委員	<p>今年度、引き継いだ委員ですので、表の見方が分からないのですけれども、K P I 指標値で、横棒（－）が入っているところというのは、評価する数値がないという見方でよろしいですか。</p>
座長代理	<p>例えばでございますけれども。教えていただければ。</p>
A 委員	<p>例えば、2 枚目のところの 21 のところで、30 年度の数値が横棒で入っていないとか。全部、横棒（－）になっているところは全部そういうことでいいですか。</p>
座長代理	<p>基本的には今ご指摘のとおりでございます。横棒（－）の部分については目標値という形で設定していない部分とか、あるいは元々 1 年単位ですね、設定値が設定できないものがございます。その左のところですね、K P I というところの欄がございますけれども、設定根拠、指標値、設定根拠、K P I というところ。K P I というところの数字というのは、基本的な数値目標を設定しなければなりませんので、ここにはこういう形で数値も含めて設定するということになっております。この目標値という部分につきましては、この数値目標というものを年度単位で数値として表して、目安として設定していくこととなりますけれども、元々、例えばこの 21 番で申し上げますと、拡充支援の要望率というところについては、アンケートを一つの目安としてございます。その関係で、このアンケート、毎年実施はしないということで、目標値の設定ができていくということで、横棒（－）で表示をするということになっております。それぞれにそういう風な事情がございます。また後程、気になるところがございましたら、ご質問頂戴できればという風に思います。以上でございます。</p>

A委員	<p>続いて、説明にはなかった資料1の5のところなのですが、これ、平成27年度に東京圏の一極集中で、政府機関の集中を是正するがために、地方に分散して地方創生を図りたいという制度だったと思うのですけれども、それについて平成27年の8月でしたか、中村知事のほうが愛媛県としてはということで、ハード的な、要は250mの水槽の設置というようなことを提案されたと思います。それについて27年度末に政府の方針というのを出されたと思うのですけれども、その27年度末に方針を出されたものが政府としては方針が変わっていないということでよろしいですか。</p>
商工振興課 (越智(貴)補佐)	<p>方針自体は変わってはおりません。</p>
座長代理	<p>それでは続きまして、3枚目の調書、「だれもが訪れたいと感じる魅力あふれるふるさとを創る」の基本目標から5件、4枚目の調書、「中心部と周辺部が連携した日本でいちばん住みたい地域を創る」の基本目標から1件、ご説明いたします。</p> <p>まず、3枚目の調書、通し番号26、具体的施策の「(ア) サイクルシティ構想の推進」「②サイクルツーリズム構想推進」について、次に通し番号32、具体的施策の「(イ) スポーツのまちづくり」「③スポーツツーリズムの推進」について、さらに通し番号33、具体的施策の「(ウ) ①広域観光周遊ルートの形成」の以上3件について、担当課より順を追ってご説明いたします。</p>
観光課 (渡部補佐)	<p>観光課よりご説明いたします。</p> <p>サイクルツーリズム構想推進の数値目標は、「育成ガイド・インストラクター数」で、平成26年の0人から、平成31年には26人になることを目標数値としてしています。平成29年の実績値は累計28人、108%の達成率となり2年前倒しの達成となりました。</p> <p>以上の実績値となった要因につきましては、愛媛県サイクリングガイド養成推進協議会によるサイクリングガイド養成講習会に、毎年一定数の受講者を集められており、その中から一定数のガイド検定合格者を出すことができていることによります。</p> <p>今後の方針としましては、ツアー客のニーズに応えられるガイドやインストラクターの養成を推進していきますが、ガイド養成事業も4年目となり、ガイド養成講習の受講を希望するサイクリストが減り、受講者を集めることが難しくなってくるのが予想されるため、新たなサイクリストの人材発掘や受講のインセンティブを検討し、受講者を確保する必要があると考えております。以上でございます。</p>
鳥生構成員	<p>続きまして、基本目標「スポーツのまちづくり」の数値について説明いたします。目標については、平成27年度から31年度までの5か年のスポーツ合宿誘致件数の累計で、360件としております。平成29年度実績は92件でしたので、平成28年度末までの件数の135件に足し合わせ、実績値は227件、目標達成度は63%となりました。92件のうち主な種目の件数は、テニス29件、サッカー23件、野球9件となっています。平成29年度実績が92件と、大幅に伸張した要因ですが、例年にはない国体・えひめ大会関連の合宿が26件あったことによるものです。</p> <p>また、市において、合宿で使用する場合に施設予約できる時期を2月下旬から1月下旬に早めたことで、宿泊施設、旅行会社が大学等の誘致先へこれまでよりも早</p>

	<p>く営業をかけられる環境を整えたことも実績が伸びた要因であると考えています。</p> <p>今後の方針ですが、宿泊施設においては、合宿実績のある大学、競技団体への売込み、旅行会社、中四国の大学への営業を強化してまいります。また、市（スポ振課）においては、市内利用団体等と調整しながら、引き続き合宿誘致しやすい環境を整えることで合宿利用を促進してまいります。</p> <p>続きまして、基本目標「広域観光周遊ルートの形成」の数値について説明いたします。目標については、日本遺産「村上海賊」に関連する体験型観光施設への入込客数で、2019年に68,500人を目標としております。平成29年の実績値は69,234件で、達成率は118%と2019年の目標値を大幅に超えましたが、その要因は、ハイシーズンの10月は台風の影響を受け、前年同月より落ち込んだものの、新艇の建造や増便対応で需要を取り込むことができたことによるものです。</p> <p>また、尾道市と連携して日本遺産村上海賊の魅力を発信しておりますが、昨年度は、食を絡めたPR、シンポジウムの開催や遺産めぐりなどの実施によって、村上海賊の認知度が向上したことも、実績が伸びた要因であると考えています。</p> <p>今後の方針ですが、資料に記載しておりますドローン撮影で映像を製作し、海外へのPRを強化すると書いてありますが、これにつきましては、都合により取りやめと聞いております。能島が続100名城に認定されたことを活用したPRなどを予定しております。また、尾道市との連携事業では、著名人を起用したマルシェ&トークショーの開催など、さらなる村上海賊の認知度向上につながる事業を実施する予定でございます。以上でございます。</p>
座長代理	<p>ありがとうございました。次に通し番号34及び36、具体的施策の「(エ) 移住・定住の促進」「①移住・定住支援策の充実」について、担当課より続けてご説明いたします。</p>
越智（秀）構成員	<p>通し番号34について、地域振興課よりご説明いたします。数値目標は、「移住希望相談件数を5年間で400件」としてしております。2015年度は201件、2016年度は179件、昨年度は133件の相談がございまして、累計で513件となり、達成率は128%となっております。</p> <p>昨年度133件の内訳でございますが、地域振興課・各支所及び『NPOしまなみアイランド・スピリット』において受付したものが99件、『NPOシクロツーリズムしまなみ』において受付したものが34件でございます。</p> <p>現在の数値目標は、2008年度～2014年度の平均移住相談件数32件の2.5倍年間80件と設定したところでございますが、今回、数値目標を達成しましたので、目標の見直しが必要と考えております。見直し内容については、今後検討してまいりたいと考えております。</p> <p>続きまして、通し番号36についてご説明いたします。数値目標は、「移住受入れ窓口などを通じた移住者数を年間15人、5年間で75人」としてしております。2015年度は26人、2016年度は37人、昨年度は50人の移住が実現いたしまして、累計では113人となり、達成率は151%となっております。</p> <p>島嶼部全体の移住促進には、『NPOしまなみアイランド・スピリット』が、移住者の住まいとなる空き家物件の掘り起こし、物件案内などを行う「空き家バンクの運営」や、各種地域情報の提供や地域案内を行う移住相談の受付等、移住希望者</p>

	<p>が地域に移住するための各種事業を実施しました。</p> <p>さらに、移住者への住宅取得・改修に対する支援や瀬戸内しまなみ海道の認知度向上などによりまして、昨年度は17世帯48人（内訳は、陸地部7世帯25人、島嶼部10世帯23人でございますが、）の方の移住が実現しております。</p> <p>また、中心市街地における移住促進につきましては、NPOシクロツーリズムしまなみが、簡易宿泊施設「シクロの家」を利用したお試し移住体験事業を実施し、合わせて住居探し、就業移住支援などの各種事業を行い、昨年度は2人の方の移住が実現しております。</p> <p>数値目標を達成しましたので、目標の見直しが必要と考えております。見直し内容については、今後検討してまいりたいと考えております。説明は以上でございます。</p>
座長代理	<p>ありがとうございました。それでは調書4枚目をお開きください。通し番号44、具体的施策の「(イ) 日本でいちばん住みたい地域づくり」「③住民主導の地域づくり」について、担当課よりご説明いたします。</p>
越智(秀) 構成員	<p>通し番号44について、地域振興課よりご説明いたします。数値目標は、「地域におけるコミュニティビジネスモデル創出5か年で5件」としております。2015年は1件、2016年は1件、昨年度は3件の実績がございまして、累計では5件となり、達成率は100%となっております。</p> <p>昨年度の3件の内容でございますが、いずれも元地域おこし協力隊員が起業したものでございまして、1つめは、上浦町において、みかん酵母を開発し、無添加で良質な原材料を使ったパンの製造・販売をする店舗を開設したものです。2つめは、同じく上浦町において、2階建ての空き倉庫を活用して、宿泊だけでなく、農村体験メニューなどを提供する簡易宿所「農村ゲストハウス」を開業したものです。3つめは、吉海町において、主に高齢者の方に対して、心身の健康維持・向上、娯楽の場を提供するために、空き家を活用したコミュニティカフェを開設したものでございます。</p> <p>それぞれの改修に係る費用につきましては、新ふるさとづくり総合支援事業の地域人材起業支援事業において、県と市が連携して支援させていただいた状況でございます。</p> <p>なお、数値目標を達成しましたので、目標の見直しが必要と考えております。見直し内容については、今後検討してまいりたいと考えております。説明は以上でございます。</p>
座長代理	<p>ありがとうございました。以上で、資料1の調書4枚目までの説明が終わりました。ここまでの内容で、ご意見・ご質問等ございませんか。</p> <p>それでは、これもちまして、議事1を終了させていただきます。今回ご協議いただいた内容を踏まえ、次回の懇談会においては、「今治市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の改訂についてお諮りさせていただければと思います。</p> <p>そうしましたら、次の議事に移らせていただきます。会次第にございますとおり、議事2「第3次今治市定住自立圏共生ビジョン基本目標及び成果指標の達成度検証」でございます。資料2「第3次今治市定住自立圏共生ビジョン基本目標及び成果指標評価調書」をご覧ください。</p>

	<p>まず「Ⅰ 生活機能の強化にかかる政策分野」の内容となります、1枚目と2枚目の調書から7件、ご説明させていただき、その後委員さんからのご意見をいただければと思います。</p> <p>ではまず初めに、通し番号1、「A 医療分野」について、担当課よりご説明いたします。</p>
越智（政）構成員	<p>それでは、健康推進課からご説明させていただきます。</p> <p>通し番号1「医療」の政策分野では、「24時間365日の救急医療体制の維持」を基本目標として設定しており、2次救急医療輪番制を切れ目なく維持するという意味で目標値を365日とさせていただいております。平成29年度におきましても、市内の輪番参加病院のご協力により、空白日を作ることなく、365日輪番制を維持することができました。</p> <p>今後の取組について、医療従事者不足等により救急医療体制を維持していくことが困難となってきておりますが、平成30年度からは、今治市医師会と愛大病院のご協力を得て、今治市を含めた三者にて、「今治市の二次救急医療提供体制維持に関する協定」を締結し、体制の維持を図っているところでございます。</p> <p>今後も、市民の安心安全な生活、そして命を守るため、愛媛県や今治市医師会にもご協力をいただきながら、今治医療圏域の医療提供体制の維持に努めてまいりたいと考えております。以上でございます。</p>
座長代理	<p>ありがとうございました。次に通し番号6、「B 福祉分野」「ウ 高齢者が安心して暮らせる圏域づくり」について、担当課よりご説明いたします。</p>
高齢介護課 (木村補佐)	<p>高齢介護課より説明をさせていただきます。</p> <p>「高齢者が安心して暮らせる圏域づくり」の施策に対して、「日常生活圏域での協議体が創出する多様なサービス数」を成果指標といたしました。平成29年度より生活圏域ごとに生活支援コーディネーターを配置し、地域の支え手グループや専門職団体と地域を支えていく仕組みづくり、サービスの創出を協議体の中で検討していますが、住民が主体となって、やりたいことと協力できることを考え、それをマッチングしていくことも生活支援コーディネーターが果たす役割を担っております。こうした活動により29年度の実績といたしまして2件のサービスを創出したことを報告させていただきます。</p> <p>1件は北郷・大西・菊間圏域で、「田之尻サンデーカップル」という資源開発の支援を行いました。菊間の田之尻地区において、日曜日に夫婦が集う場としてのサンデーカップルと名づけたグループは既に結成されていましたが、地域のために何か活動したいが、どうしていけばいいかわからない、という声に生活支援コーディネーターが企画協力による支援を行い、月に1回、日曜日に「田之尻サンデーいち」として、地元名産を使った、いりこ飯などの手作り品や地元野菜の販売を通して地元高齢者の社会参加や地域の宣伝と共に活動する仲間作り活動が開始されました。</p> <p>2件目は美須賀・立花圏域から鳥生地区の「らんらん健康サロン」と地域住民の疾病予防と健康増進に寄与する体制及び関係性の構築を目指す薬剤師会とを結び付け、30年1月10日に愛媛県薬剤師会の方を講師としてインフルエンザについての講座を開催しました。こちらは新たなサービスの創出ではなく、地域の社会資源を把握し、専門職団体とのマッチングを行い、団体の活動を活性化させるコーディ</p>

	<p>ネットの役割を実践した例になります。以上でございます。</p>
座長代理	<p>ありがとうございました。次に通し番号7、「エ 障がい者が安心できるノーマライゼーションの推進」について、担当課よりご説明いたします。</p>
障がい福祉課 (森補佐)	<p>障がい福祉課より、説明をさせていただきます。</p> <p>相談支援体制のうち、相談支援事業所についてでございますが現在3事業所（今治市障がい者生活支援センター・今治福祉施設協会相談支援事業所・今治市障害者地域活動支援センター）に加え、平成27年度からは新たに今治市総合相談支援センターを設置しました。さらに、平成29年度におきましては、「今治市総合相談支援センター」を「今治市基幹相談支援センター」に移行し組織体制の充実を図り、目標値5,300件に対し7,438件という実績となりました。</p> <p>当初の目標値設定においては、相談件数という見込みの推計が困難であり、基本的な根拠が見出しにくいことから、過去の3年間の実績を基本に目標値を設定いたしました。そのため、目標値に比べて実績件数が大幅な増加となっております。基幹相談支援センターが総合相談支援センター設置から3年目の運営により認知されてきたこと、また相談内容の複雑化、困難事例の増加、それに伴う解決時間の長期化なども件数増加の一因であると考えております。今後、基幹相談支援センターが定着してくる中で、更に相談件数は増加してくるものと考えられます。</p> <p>なお、「基幹相談支援センター」とは、専門職種を配置し、地域の相談支援の拠点として総合的な相談業務及び成年後見制度、虐待防止、入所施設や精神科病院への働きかけ、相談支援事業所の指導・助言などの業務を行うセンターで、本市においては虐待防止センター機能を併せ持つ体制となっております。以上で相談支援体制についての説明を終わらせて頂きます。</p>
座長代理	<p>ありがとうございました。次に通し番号10、「C 教育分野」「イ 文化・体育関連施設のネットワーク化」について、担当課よりご説明いたします。</p>
スポーツ振興課 (渡辺係長)	<p>「公共施設案内・予約システムを通じた施設予約件数」について、スポーツ振興課よりご説明いたします。</p> <p>数値目標としましては、「年1%の増加、5年で5%程度の予約件数の増加により、年間17,880件の利用」を目標値といたしておりましたが、27年度17,029件の利用に対し、28年度は17,656件、昨年は18,557件と増加し、180%の達成率となり目標値を大きく上回りました。</p> <p>主な要因としましては、1団体あたりのシステム予約件数の上限を緩和するなど予約方法の運用改善により、当初目標設定時に想定しておりました市営スポーツパークテニスコートとサッカー場供用開始後の予約件数が予想以上に大きく伸びたことによるものと考えております。</p> <p>今後の取組でございますが、松山市と共同で導入しておりました予約システムに関する協定が本年2月末で期間満了となったことに伴い、新しい予約システムへ更新いたしております。システムの更新に併せ、予約システムを通じ使用申請いただいた方については、インターネット上での予約確定をもって使用許可を受けたものとみなし、施設窓口での申請書の記載及び許可書の交付を省略できるようにいたしております。引き続き利用者の意見を伺いながら、実情にあった運用改善を図り、利用者の利便性向上並びに更なるシステム利用の促進に取り組み、施設利用の増加</p>

	<p>につなげていきたいと考えております。</p> <p>今回、数値目標達成となりましたので、目標の見直し、見直し内容を今後検討してまいりたいと考えております。以上でございます。</p>
座長代理	<p>ありがとうございました。それでは調書2枚目をお開きください。通し番号12、「D 産業振興」「ア 海事都市今治の推進」について、担当課よりご説明いたします。</p>
商工振興課 (越智(貴)補佐)	<p>商工振興課よりご説明いたします。</p> <p>まず、数値目標の達成度についてご説明いたします。平成29年度の輩出者数は190人であり、平成28年度と比べても年度あたり22名の増加となっております。これは、平成29年度より、専門技能科中級コースにおいては、「造船塗装」及び「電気機装」のメニューが追加されたことに加え、技術コースにおいても、「生産設計コース」が新設されたことが大きく影響していると考えられます。なお、平成27年度から平成29年度における輩出者数の累計は504人と、当初目標の500名を達成しております。</p> <p>これまでも実施している初級者研修においては、受講者からのアンケートなどを通じて、次年度に向けての改善点について洗い出しを行い、内容の充実が図られているとともに、平成29年度より設けられた、より細分化された専門分野の研修メニュー提供により、各製造工程のニーズに応じた技能を持つ人材の育成が図られております。</p> <p>今後においても、業界を主体とした人材育成の取組により、安定的な雇用を維持していくため、造船振興計画に基づいた支援を引き続き実施して参ります。以上でございます。</p>
座長代理	<p>ありがとうございました。続いて通し番号17、「エ 多彩な地勢を活かした農産物のブランド化」について、担当課よりご説明いたします。</p>
瀬尾構成員	<p>農林振興課よりご説明いたします。</p> <p>野生鳥獣の捕獲には、「狩猟による捕獲」と「有害鳥獣捕獲」の2種類があります。ここでは、農作物被害の防止などを目的として、農協からの申請を受けて市が許可して行う「有害鳥獣捕獲」数を指標としています。</p> <p>平成29年度の捕獲実績は、イノシシなどの獣類が1,872頭、カラスなどの鳥類が1,247羽で、合計3,119頭・羽、達成度は41%となっております。前年度に比べて244頭・羽、約8%の増加となっております。</p> <p>また、29年度の野生鳥獣による農作物被害額は約4,300万円で、前年度に比べて約1400万円、25%程度の減少となっております。耕作放棄など、被害額として数字に表れないものもあると思いますが、捕獲数の増加が、被害減少に転じた要因の一つだと考えております。</p> <p>捕獲に関しては、猟友会・狩猟者の方々のご協力が不可欠ですが、近年、わな免許の所持者は増加しているものの、銃の所持者が年々減ってきており、また、全体の約7割が60歳以上と高齢化が進行している状況にあります。このようなことから、狩猟者の確保・育成が大変重要だと考えております。</p> <p>そこで、狩猟者育成支援策として、新たに狩猟免許を取得する方に対する事前講習会の受講料や旅費の助成、また、わなの作り方・仕掛け方などの技術講習会の実</p>

	<p>施、さらに狩猟登録をする時に狩猟者が負担する猟友会費・共済掛金などの経費の一部助成などを行っております。</p> <p>今後も引き続き、このような支援策と、有害鳥獣を農地へ侵入させないための防護柵や電気柵の設置への助成などを併せて、捕獲の強化に努めていきたいと考えております。以上でございます。</p>
座長代理	<p>ありがとうございました。次に通し番号 26、「F 生活インフラの整備」「ウ 圏域のごみ処理施設の集約とネットワーク」について、担当課よりご説明いたします。</p>
リサイクル推進課 (中田主査)	<p>リサイクル推進課よりご説明いたします。</p> <p>まず、一般廃棄物の最終処分量の目標値については、国の方針に準じ、平成 29 年 4 月に策定した「一般廃棄物処理基本計画」の目標年度である平成 32 年度最終処分量を 5,600 トンとしています。</p> <p>今治市では、従来、市内にあった 4 つのごみ処理施設を平成 30 年 4 月に稼動した新ごみ処理施設、今治市クリーンセンター、愛称バリクリーンへ統合、集約を行いました。</p> <p>また、市民の協力によるこれまでの排出抑制策の効果や新ごみ処理施設稼動に併せて新たに開始したごみ分別の徹底と焼却残渣の積極的な資源化を図ることで、平成 29 年度の実績値及び達成度は、平成 27 年度と比較して 2,104 トン減少した 7,348 トン、55%の達成度となっています。以上でございます。</p>
座長代理	<p>ありがとうございました。以上で、「生活機能の強化にかかる政策分野」の内容の説明が終わりました。ここまでの内容で、ご意見・ご質問等ございませんか。</p>
B 委員	<p>6 番目の高齢者が安心して暮らせる圏域づくりについてですが、参考資料で配布いただいております共生ビジョンの、21 ページ～23 ページあたりになると思うんですけども、高齢者が安心して暮らせる圏域づくりということで、22 ページに地域包括ケアシステムの将来のイメージということで、医療、介護、在宅医療介護の連携、あるいは右下には生活支援、介護予防、真ん中には、住まいの確保というような図になっているかと思います。今回の成果目標は協議体が創出する多様なサービスというようなことで、先ほどのお話をお聞きしておりますと、生きがいとか社会参加の部分、あのあたりの指標で 2 件程度だったというように聞こえるんですけども、地域包括ケアシステムの図を、高齢者が安心して暮らせる圏域づくりの姿としてイメージするのであったら、もう少し数値目標の設定の件数を増やすわけにはいかないのでしょうか。医療分野ではどうだこうだ、介護分野ではどうだこうだ、住まいについては、とか。それぞれのところで数値目標を設定して議論しないと、生きがい、社会参加の部分だけでは、平成 32 年度に、高齢者が安心して暮らせる圏域づくりができましたね、ということにはならないのではないのでしょうか。そういう風に思いました。次回設定するときにはもう少し数値目標を設定していただけたらと思います。</p>
高齢介護課 (木村補佐)	<p>高齢介護課です。ご意見ありがとうございました。</p> <p>地域包括ケアシステムの構築に関しましては、様々なアプローチがございます。委員さんご指摘のように、もっと大きな流れというのは当然あるかと思えます。当然、介護保険制度を継続可能なものにするため、給付費の見直しなどある中で、地域包括ケアシステムの中で、今回、生活支援コーディネーターの総合事業の部分</p>

	<p>をK P I の目標と今回させていただきました。共生ビジョンの 23 ページにございます、平成 28 年度からの事業の部分というのは、主には総合事業の人件費の部分を計上させてもらっています。今回、27 の協議体において生活支援コーディネーターの協議会を年 2 回ほど開催して、地域の困り事ではないですけれども、制度の隙間、もっとこうしたらいいという部分を一緒に地域の方と協力して創造する事業を展開している状態でございます。当然、それは介護保険制度の中では、大きな事業費の中では微々たるものかもしれませんが、地域の人たちと一緒に協議していくことが、これからのケアシステムを構築されていくかということに、こちらも思っております。委員さんご指摘のように、もう少し大きく事業を動かしていくという部分はこれから努力していく部分だと思います。以上でございます。</p>
B 委員	<p>事業を展開するんじゃなくて、指標をもう少し増やして、地域包括ケアシステムが達成に向けて、どのあたりを歩いているのか分かるようにしたらどうですかという提案です。医療の分野では地域医療構想を書いてありますけれども、どのような進捗になっているか、介護の方では、非常に介護人材が不足してサービスの提供がなかなか難しくなっているんですけれども、統計で介護人材の推移がどうなっておるのかということとか、住まいの分野ではサ高住とかあると思うんですけれども、それがどれだけ整備されたかとか、そういう指標を増やしたほうが、この高齢者が安心して暮らせる圏域づくりが出来たか出来ていないか、できつつあるかどうか、見やすいのではないですか、という提案です。</p>
座長代理	<p>この共生ビジョンは、5 年に 1 回、計画全体の見直しといたしますか、策定自体をやりかえるということになっております。平成 32 年がその時期にあたるので、その改訂ということも見据えながらの設定ということも含めて、検討させていただければと思います。以上でございます。</p> <p>他にご意見ございませんでしょうか。</p>
C 委員	<p>先ほどのご意見に付けたしというところになってくるのですが、発表いただいたそれぞれの評価の部分ですが、今日の部分でいうと全体的に数値目標を超えているものが全体的に多かったかと思えます。私も 1 年前から委員をしているということで、全体的な流れを十分把握できていないところもあるんですけれども、評価の数値の見直しをかけるにあたって、この中で全部とは言いませんけれども、項目を絞ってもう少し具体的に数字を挙げていただいた方が、こちらとしても意見を言いやすいのではないかとお話しをお聞きして思いました。例えば、口頭での説明もあった部分もあると思うんですけれども、資料 1 の 3 枚目の 32 番のスポーツ合宿の誘致という部分に関して、説明を聞いていて思ったんですが、例えば中四国の大学から何件なのか、関西圏からは何件あるのかとか、関東の方や九州の方からは何件なのか、というところが分かってくると、この合宿誘致に関しては営業を強化するという話もあったかと思うんですけれども、どこの地域にすれば全体的な数字が上がってくるのかという戦略も立てやすいのではないかなと思います。単純に数字を追うだけではなくて、内訳であったりとか、どの部分に対してどうだったのかという部分を広げていったら、目標達成できていないものについては、課題が見えてくるのではないのでしょうか。以上です。</p>
座長代理	<p>ありがとうございます。確かに正直私どもの方も、試行錯誤しながらの数値目標</p>

	<p>設定というところもございますが、今、C委員さんの方からご指摘を頂戴したように、基本的には説明できるようにするためにですね、数値の分析というのをしっかりして行って、ということだと思います。今後の対応の部分について参考にさせていただければと思います。以上でございます。</p> <p>他にご意見ございませんでしょうか。</p> <p>(意見なし。)</p> <p>なければ、先に進めさせていただきます。後程、全体で意見を頂戴できればと考えております。</p> <p>そうしましたら、残る調書3枚目となります、「Ⅱ 結びつきやネットワークの強化にかかる政策分野」及び「Ⅲ 圏域マネジメント能力の強化にかかる政策分野」の内容から2件、ご説明させていただき、その後委員さんからのご意見を頂戴できればと思います。</p> <p>ではまず初めに、通し番号33、「C 道路等交通インフラの整備」「ア 圏域内外の交流を促進する道路インフラの整備」について、担当課よりご説明します。</p>
<p>道路課 (井手補佐)</p>	<p>道路課よりご説明いたします。</p> <p>本市において、老朽化が進む橋梁を計画的かつ効率的な維持管理と行うとともに今後増大する修繕費用のコスト縮減を図るため、橋梁長寿命化修繕計画を策定しています。</p> <p>その上で、損傷度合いや交通量等の諸条件を考慮し、優先順位の高いものから順次修繕を行っています。</p> <p>数値目標といたしましては、この計画に基づき、H27年を基準年とし、今後5年間で老朽化対策が必要な橋梁をすべて対策済みにすることを目標としています。</p> <p>具体的には、今後5ヵ年度で修繕等の老朽化対策を必要とする橋梁は26橋ございます。H28年度に10橋、H29年度は3橋で修繕等の対策を行いました。この結果、対策を実施した割合は昨年度末で50%の進捗率となっています。</p> <p>今後もこの修繕計画に基づき橋梁の老朽化対策を実施し、適切な道路施設の維持管理に努めて参りたいと考えています。以上でございます。</p>
<p>座長代理</p>	<p>ありがとうございます。それでは最後となります、通し番号41、「A 中心市等における人材の育成」「ア 圏域の自立を担う人材の育成」について、事務局よりご説明します。</p>
<p>事務局 (波頭主幹)</p>	<p>それでは、事務局よりご説明いたします。</p> <p>平成29年度における、「今治市新ふるさとづくり総合支援事業費補助金」により、地域づくりを行う民間団体の支援を行った件数は9件でした。目標期間5年間の支援件数を30件と設定させていただいており、これまでの累計は18件となっておりますので、60%の達成率となっております。</p> <p>平成29年度における補助対象事業としては、関前諸島の魅力を広く発信し滞在型観光を推進するために、地域住民が主体となって参加した映画製作ワークショップ及び映画祭の開催を支援したものや、大三島における有害鳥獣対策を推進するため、イノシシ肉の販路拡大を目指し各種イベントへの出店及び取組周知のための冊子作成を支援したものなどがございました。</p> <p>今後も引き続き、地域におけるまちづくりの担い手の自発的な取組について、愛</p>

	<p>媛県と連携を図りつつ、総合的に支援して参ります。以上でございます。</p>
座長代理	<p>ありがとうございました。以上で、「Ⅱ 結びつきやネットワークの強化にかかる政策分野」及び「Ⅲ 圏域マネジメント能力の強化にかかる政策分野」の内容の説明が終わりました。ここまでの内容で、ご意見・ご質問等ございませんか。</p> <p>(意見・質問等なし。)</p> <p>それでは全体を通してご質問はございませんか。</p> <p>(意見・質問等なし。)</p> <p>以上で本日の議事が終了いたしました。委員の皆さま、貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。</p> <p>つづきまして、今後の予定について事務局よりご説明します。</p>
事務局 (波頭主幹)	<p>それではご説明します。今後のビジョン懇談会でございますが、今年度もう1回の開催を11月頃に予定しております。案件としましては、議事1において実績をご報告差し上げました総合戦略、および議事2において実績をご報告差し上げました共生ビジョンの所要の改訂をご協議いただければと考えております。</p> <p>前回の見直し以降の市政の動きや新規事業等を反映させるとともに、本日委員の皆さまからいただいたご意見をふまえ、数値目標の見直し等含めて、ご審議いただけたらと思っております。引き続きご協力を賜りますよう、お願いいたします。以上でございます。</p>
座長代理	<p>ありがとうございました。今後の予定等につきまして、ご質問等ございますか。かまいませんでしょうか。</p> <p>(意見・質問等なし。)</p> <p>それでは、最後になりますが、今治市の人口に関しまして、厚生労働省の政策研究機関であります国立社会保障・人口問題研究所から今年3月に公表されました将来推計人口について、私のほうからご報告させていただきます。</p> <p>本日お配りしました「国立社会保障・人口問題研究所推計の今治市の将来推計人口」という参考資料をご覧ください。上側の表は平成25年に公表された推計人口です。下側の表は今年3月に公表された推計人口です。5年前の推計に比べてみますと、黄色の部分ですが、0歳から14歳までの年少人口は多少増加がみられるものの、15歳から64歳までの生産年齢人口が大きく減少しており、合計で見ますと、水色の部分ですが、人口総数はさらに減少する結果となっております。27年後の2045年には約10万人となっております。また、平成32から平成57年の25年間で約5万人の減少、単純計算ですが1年間で2千人の減少となっております。</p> <p>この推計結果からも分かるように、人口減少問題は喫緊の課題となっております。これからも積極的に人口減少の抑制のための取組を進めていく必要がございます。そのためにも本日の効果検証についても踏まえつつ、今後とも皆様のご協力を賜り、市民の皆様と行政がしっかりと連携して、オール今治で取り組んでまいりたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>本日は長時間にわたりご審議いただきましてありがとうございました。これを持ちまして、平成30年度第2回「今治市ふるさと共創・共生ビジョン懇談会」を閉会といたします。</p> <p>皆様、本日はどうもありがとうございました。</p>